

「用字・用語の表記例」(平成22年改訂常用漢字表準拠)

平成23年4月

仙台市教育局学校教育センター

◎ 以下の表記例は、公用文作成の基準として作成したものである。利用に際しては、原則として見出し語の表記に従うことが望ましい。

【略号：「」→適切な使用例 (参)→参考表記 (×)→不適切な表記や読み (接)→接続語の表記 (く)→読み】

【あ】		かい 「努力のかがいがある」 甲斐(×)	更に 「更に検討する」
挨拶	あいさつ(参)	楷書 「楷書で書く」	さらに・・・ (接)
曖昧	あいまい(参)	代える 「選手を代える」	爽やか さわやか(参)
合う	「計算が合う」	替える 「観客を入れ替える」	【し】
会う	「客と会う」 逢う(×)	換える 「品物を取り換える」	仕方 「仕方がない」
遭う	「不測の事故に遭う」	係る〈かかる〉 「標記に係る・・・」	叱る 「弟を叱る」
あえて	敢えて(×)	関わる 「命に関わる」	従う 「法律に従う」
諦める	あきらめる(参)	書き初め 書初め(参) 書きぞめ展(参)	したがって・・・ (接)
空く	「席が空く」	描く〈かく、えがく〉	叱責 「叱責を受ける」
開く	「幕が開く」	陰ひなた 「陰ひなたなく働く」	竹刀〈しなひ〉
上げる	「効果を上げる」	風邪 「風邪を引く」	芝生
挙げる	「手を挙げる」	片仮名	締切り、締め切り ×切(×)
懂れる	あこがれる(参)	片づく	～中〈じゅう、ちゅう〉
明日〈あす〉	あした(×)	片寄る 「隅に片寄る」	修得 「単位・課程を修得する」
温かい	「心の温かい人」	偏る 「思想が偏る」	習得 「英会話を習得する」
暖かい	「暖かい春の日ざし」	葛藤 「心の葛藤」	十分 充分(参)
当たって	当って(参)	要 「扇の要」	主旨 「文章の主旨」
宛て	「恩師宛ての手紙」	彼ら 彼等(×)	趣旨 「改訂の趣旨」
充てる	「指導に充てる時間」	喚起 「意欲の喚起」	上手〈じょうず〉
あらかじめ	予め(×)	頑張る がんばる(参)	芯 「鉛筆の芯」
表す	「言葉に表す」 表わす(参)	完璧 「完璧の備え」	真摯 「真摯な態度で接する」
現す	「姿を現す」 現わす(参)	【き】	親戚 「親戚づきあい」
在り方	「指導の在り方」	危惧 「結果を危惧する」	進捗〈しんちよく〉 「進捗状況」
あるいは	或いは(×)	機嫌 気嫌(×)	親睦 「親睦を図る」
併せて	「併せて支給する」	気付く 気づく(参)	【す】
あわせて・・・	(接)	共同 「共同募金」	隙間、透き間 すきま(参)
【い】		協同 「協同組合」	ずつ 「一つずつ」 づつ(×)
言う	「お世辞を言う」	協働 「協働型学校評価」	すなわち 即ち(×) 則ち(×)
いう	「Aさんという人」	【く】	素早い 「素早い動作」
いかなる	如何なる(×)	下さい 「資料を下さい」	すばらしい 素晴らしい(×)
椅子	いす(参)	ください 「話してください」	全て 総て(×) 凡て(×)
いただく	「見ていただく」	組合せ、組み合わせ	【せ】
一旦		来る 「人が来る」	制作 「彫刻・工芸品の制作」
いまだに	未だに(×)	くる 「寒くなってくる」	製作 「機・機械の製作」
いろいろ	色々(×)	【け】	成長 「虫の成長」
【う】		稽古 「踊りの稽古」	整頓 「整理整頓」
伺う	「都合を伺う」	桁 「一桁の計算」	せりふ 台詞(×)
うかがう	「様子をうかがう」	蹴る 「ボールを蹴る」	【そ】
受付	「受付係」	けんか 喧嘩(×)	雑巾 ぞうきん(参)
打合せ、打ち合わせ		鍵盤 「鍵盤ハーモニカ」	掃除 「大掃除」
うなづく	うなづく(×)	【こ】	袖 「舞台の袖」 そで(参)
うれしい	嬉しい(×)	御 「御案内、御苦労」	そば 「そばに座る」 側(×) 傍(×)
【え】		語彙 「語彙が豊富だ」	反らす 「胸を反らす」
餌	「餌をやる」	好意 「好意を寄せる」	そろう 揃う(×)
【お】		厚意 「御厚意に感謝する」	【た】
おいて	於いて(×)	交代 「議長が交代する」	他〈た〉 「他国」
旺盛	「好奇心旺盛」	交替 「交替で勤務する」	太鼓
おおむね	概ね(×)	心地〈こち〉 「心地よい」	類似 たぐい(参)
臆測、憶測		答え 答(参)	ただし 但し(参)
行う	行なう(参)	応える 「期待に応える」	直ちに 「直ちに行く」
収める	「成功を収める」	～ごと 「1日ごと」 1年毎(×)	たち 「子供たち」 子供達(×)
修める	「小学校の課程を修める」	言葉 「言葉遣い」	度〈たび〉 「度重なる依頼」
各、各々〈おのおの〉		子供、子ども	ため 「皆のため」 為(×)
溺れる		頃 「若い頃」	誰 「誰だろう」
及び	「A及びB」	【さ】	【ち】
お礼〈おれい〉		遡る さかのぼる(参)	緻密 「緻密な計画」
御礼〈おんれい〉		挿絵〈さしえ〉 挿画(×)	貼付〈ちょうふ、てんぷ〉
【か】		挫折 「途中で挫折する」	【つ】
か 「3か月」「2か所」ケ(×)カ(×)		沙汰 「御無沙汰」	追及 「責任の追及」
箇	「三箇所」「数箇所」	様々 さまざま(参)	追求 「理想の追求」

追究 「課題の追究」
ついに 遂に(×)
造る 「船を造る」
作る 「米を作る」
創る 「文化を創る」
～付け 「4月1日付け」
付ける 「身に付ける」
つける 「駆けつける」
着ける 「衣服を身に着ける」
拙い 「拙い文章」 つたない(参)
つづる 綴る(×)
都度 つど(参)
唾 「唾を吐く」
つまづく つまづく(×) 躓く(×)
爪 「爪を切る」
【て】
丁寧 「丁寧に客をもてなす」
的確 適確(参)
適格 「教師として適格」
出来 「出来がよい」
できる 出来る(×)
手立て 手立て(参)
手引 「指導の手引」
【と】
等(とう) など(×)
同士 「友達同士で行く」
同志 「同志を募る」
通して 「～を通して」
通り 「青葉通り」
とおり 「次のおり」
時 「時の流れ」
とき 「困ったときには」
友達
共に 「父と共に行く」
ともに 「技能を高めるとともに」
捉える 「要点を捉える」
捕らえる 「鬼を捕らえる」 捕える(参)
取扱い、取り扱い
取組 「実践授業への取組」
【な】
なお 尚(×) 猶(×)
半ばく(な) 半ば諦める」
名残く(な) 名残を惜しむ」
なぜ 何故(×)
謎 「謎を解く」
など 等(×)
何とぞ 何卒(×)
並びに 「(A及びB)並びに(C及びD)」
【に】
にぎやか 賑やか(×)
【ね】
捻挫 ねんざ(参)
年齢 年令(参)
【の】
のつとる 「前例にのつとる」 則る(×)
伸び伸びと
伸びる 「身長が伸びる」
延びる 「出発が延びる」
【は】
配膳 「給食を配膳する」
はがき 葉書(参)
図る 「解決を図る」
計る 「時間を計る」
測る 「距離を測る」
量る 「体重を量る」
育む はぐくむ(参)

箸 「箸の上げ下ろし」
初めて 「初めて泳ぐ」
始める 「勉強を始める」
話 「話に花が咲く」
話し合い、話し合い
話し言葉
幅 巾(×)
貼る 「切手を貼る」
判 「A4判」
版 「改訂版」
【ひ】
秀でる 「一芸に秀でる」
日ごと 日毎(×)
日頃
膝 「膝を擦りむく」
肘 「肘を張る」
日付 「日付を入れる」
必須 「必須科目」
一たび 一度(×)
一つ 一つ(×)
瞳 「瞳を輝かす」
独り 「独り占め」
一人一人
比喩
平仮名
【ふ】
拭く 「床を拭く」
二つ 2つ(×)
普段 「普段と変わらない態度」
振り仮名
触れ合う 「心が触れ合う」
雰囲気 「明るい雰囲気」
【へ】
へき地 僻地(×)
編成 「教育課程の編成」
編制 「学級編制」
編製 「学齢簿の編製」
【ほ】
ほか 外(参) 他(参)
朗らか
保証 「品質保証」
保障 「安全保障」
程 「程なく」
～ほど 「1時間ほど」
【ま】
紛らわしい
幕あい 幕間(×)
誠に まことに(参)
勝る 「実力が勝る」 優る(×)
真面目 まじめ(参)
交じる 「仮名が交じる」
混じる 「水に塩が混じる」
交わる 「友達と交わる」
ますます 益々(×)
又は
まっすぐ 真っ直ぐ(×)
全く 「全く関係ない」
まで 迄(×)
まね 真似(×)
回り 「身の回り」
周り 「周りの人」
【み】
見いだす 見出す(×)
三つ 3つ(×)
皆く(みな) みんな(×)
見る 「絵を見る」

みる 「試してみる」
【む】
向かい 向い(参)
迎える 「客を迎える」
難しい 「難しい問題」
旨く(むね) 「その旨を告げる」
【め】
目 「三日目に出発する」
目当て 「学習の目当て」
明瞭 「簡潔明瞭」
目指す 「優勝を目指す」
めでたい 目出度い(×)
【も】
申込み、申し込み
持つ 「興味を持つ」
もって 「以上をもって」
最も 「最も高い山」
もっとも 「もっともな御意見」
下 「法の下に平等」
元 「元に戻る」
基 「資料を基にする」
基づく 「経験に基づく」
物おじ 「物おじしない」
最寄り 「最寄りの銀行」
もろもろ 諸々(×)
【や】
やむを得ず
やり遂げる
和らぐ 「気持ちが和らぐ」
【よ】
良い 「成績が良い」
善い 「善い行い」
よい 「連絡してよい」
よかれあしかれ 悪しかれ(×)
【ろ】
ろ過 濾過(×)
【わ】
わい曲 歪曲(×)
分かる 判る(×)
脇 腋(×) 傍(×)
湧く 「勇気が湧く」
沸く 「風呂が沸く」
僅か わずか(参)
煩わしい
私く(わたし、わたくし)
わたる 「3時間にわたる」 亘る(×)
わびる 詫びる(×)
割当て、割り当て

『準拠資料』

- ・「常用漢字表」(平成22年11月30日内閣告示)
- ・「公用文の書き表し方の基準」
(平成13年4月文化庁)
- ・「文部省用字用語例」(昭和56年12月文部省)
- ・「言葉に関する問答集」(文化庁)
- ・「小・中学校学習指導要領解説」(文部科学省)
- ・「新表記辞典」新訂三版(第一法規)
- ・「公用文 用字用語の要点」(新日本法規)
- ・「最新公用文用字用語例集」(平成22年ぎょうせい)
- ・「例解辞典」(平成22年 ぎょうせい)
- ・「表記の統一について(参考)」(平成12年、21年
仙台市教育局教育センター・指導課)